

柱上作業時における安全上の留意事項について

共架工事(改修・撤去含む)のために電柱で作業する際は下記事項を遵守し、安全作業に努めてください。

記

1. 安全上の留意事項

- (1) 作業実施前に電柱・支線を点検し、作業時に倒壊等の恐れがないか確認する。
 - ・木柱は、ハンマー打診等による点検を行い、腐食・損傷の有無を確認する。
 - ・コンクリート柱については、ひび割れ等がないことを確認する。
 - ・鋼板組立柱・鋼管柱(引込用含む)については、特に以下の点に留意して電柱根元点検を実施する。

✓ 電柱根元(地際)付近に発錆、歪等がないか。

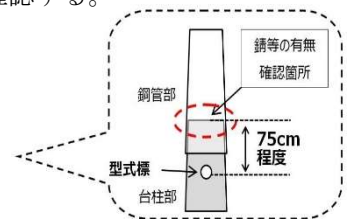
※地際付近の土砂や草等の付着物を確実に除去し、発錆状況を触手により確認する。

※草むら・窪地等の水はけの悪い箇所および犬尿の痕跡がある場所は、

発錆・腐食が進展しやすいことから、入念に確認する。

- ・複合鉄筋コンクリート柱については、特に以下の点に留意して点検する。

✓ 鋼管部と台柱部の接合箇所付近(型式標から75cm程度の上部)に発錆、歪等がないか。



- (2) 昇柱にあたっては、電柱の第1足場ボルト※、金物類およびメッセンジャーワイヤ等の検電と墜落制止用器具(フルハーネス型、胴ベルト型)の適切な使用を励行する。(※電柱の最下段に施設した足場ボルト)
- (3) 共架電線の取付付近の入念な点検を実施する。
- (4) 点検の結果、電柱の発錆・腐食、ひび割れ、漏電などの異常箇所を発見した場合は、当該電柱での作業等を一旦中止し、最寄りのネットワークセンターの[お問い合わせフリーダイヤル](#)へ速やかに連絡する。

2. 異常箇所の例

コンクリート柱



斜めヒビ

内部までの貫通



剥離(浮きあり)

複合鉄筋コンクリート柱



鋼管部(台柱型式票の約75cm上)が変形し、錆が発生



鋼管部下端が著しく錆びている(錆の長さが4cm以上)

鋼板組立柱・鋼管柱



雲母状の錆が広範囲(全周の1/4以上)に発生



雲母状の錆で穴が空いている

以上